

1 はじめに

本校の特別活動の目標として、自主性・自発性を尊重し、創意ある生き生きとした活動の展開により、学校生活の充実を図る。

2 資料

＜キッズタイム・児童集会＞

キッズタイムでは、異学年集団の場と活動を意図的に設定し、学級や学年をこえた人間関係がつくられている。特に高学年は、下級生のお世話をし、思いやりの心や、班をまとめる力が育ってきている。毎回、班ごとに遊びやルールを工夫し、全学年が楽しめるように考えながら実施している。

今年度も年2回計画委員会が主催する児童集会を行う予定である。12月の児童集会では、ジャンケン玉取りゲームを行った。班で玉の個数を競い合うため、高学年を中心に作戦を練るなど各班で協力し合って活動した。



3 成果と課題

- ・縦割り班活動では、高学年を中心とし、児童同士が主体的に協力し合って活動することができた。
- ・異学年交流の場となり、これらの活動を通して自分以外の学年の児童と仲よくなっている姿が見られる。
- ・コロナウイルス感染症予防対策として、マスクをつけて活動することやソーシャルディスタンスを保つことができる活動に限られることが課題である。
- ・油縄子小学校の伝統の活動であり、子ども達が皆で活動できることを楽しみにしている。今後も感染状況を十分に配慮しながら実施できるようにしたい。